

大いなる飛躍へ

 JA上川中央



7月2日
JA上川中央女性部
一日研修

2008

NO.5

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125
Tel(01658)6-5311
編集・総務課

8

JAグループ北海道 中央要請運動実施生産資材価格安定と 資材高騰対策を要請！

JAグループ北海道は、去る7月16日

代表団120人が上京し（当JA新井組合長参加）、世界貿易機関（WTO）農業交渉や生産資材価格の高騰対策、水田農業対策などを自民党の選出国会議員らに東京都内で要請しました。生産資材対策は供給と価格の安定、低コスト生産に対する支援策が柱となっております。また、水田農業対策では産地づくり交付水準の維持と同交付金とは別財源で米粉や加工用の支援や輸出の支援策を創設することなどが焦点となっております。

また、JAグループ北海道では8月下旬に札幌で生産資材対策の決起集会を開催する予定となっております。

以下、WTO閣僚級会合生産資材高騰対策等に関する要請書の内容について掲載します。

I、食料安全保障の確立

1、WTO農業交渉について

(1) 上限関税の断固阻止

わが国および北海道農業に壊滅的な打撃を与える上限関税の導入を断固阻止すること。また、高関税品目を多く有するわが国などG10諸国にのみ不当な代償を求める提案も拒否



すること。

(2) 十分な数の重要品目の確保

北海道農業は、米をはじめ小麦・でん粉・雑豆・砂糖・乳製品など多くの重要品目を有しており、これらの品目の生産が縮小・撤退を余儀なくされることがないよう、十分な数の重要品目を確保すること。

また、輸入急増や価格下落の際に

適切に対処する特別セーフガード（SSG）の仕組みを堅持すること。

(4) 自給率向上に不可欠な重要品目に対する柔軟性の確保

食料自給率の向上には、重要品目の国境措置が適切に取り扱われることが不可欠であり、関税割当約束と関税削減の柔軟な組み合わせにより、品目毎の事情に応じた対応を可能とすること。

(5) 食料安全保障を強化する公平・公正な貿易ルールの確立

世界的な穀物需給のひっ迫・価格の高騰、一部諸国による輸出禁止・制限など、食料争奪の状況の中で、国内生産を基本においた食料安全保障が確立されるよう、輸入国に配慮するとともに、輸出規律を厳格化した公平で公正な農産物貿易ルールの確立すること。

(6) 農業の多面的機能を十分尊重した農業モダリティの確立

多様な農業が共存し、世界各国で農業の多面的機能が十分発揮されるよう、非貿易的関心事項を確実かつ具体的に反映させて、食料輸入国における食料主権を可能とする農業モダリティを確立すること。

2、日豪EPA交渉について

日豪EPA交渉においては、小麦、砂糖、乳製品、牛肉、米、軽種馬等の重要品目を関税撤廃の対象から除外すること。豪州側が配慮しない場合については、衆

参農林水産委員会の決議に基づき、交渉中断を含め断固たる対応をすること。

II、農業所得確保対策

1、生産資材価格高騰対策

(1) 生産資材の安定供給と価格の安定化
肥料や燃料などの農業生産資材の安定供給を確保するとともに、価格の安定化に向けた緊急対策ならびに抜本的対策を講ずること。

(2) 消費者・流通業界に対する理解の醸成
生産者ならびに農業団体の努力を超える生産資材価格の上昇については、農畜産物価格に適切に反映されるよう、消費者や流通業界の理解醸成を図ること。

(3) 省エネルギー・低コスト技術への支援
省エネルギー型農業機械等の導入促進を図るとともに、低コスト生産技術導入への支援措置を実施すること。

(4) 投機マネーへの規制等
原油価格や穀物価格の高騰に対して、国際的連携による解決策について検討するとともに、実効性のある対応策を図ること。

2、品目別対策

(1) 水田農業対策

① 米生産調整実施者の所得確保対策
米の生産調整を実施する担い手



農家に対する所得確保対策として、
 現行の収入減少影響緩和対策を充
 実強化するとともに、所得維持対
 策を構築すること

②産地づくり交付金の交付水準の維
 持

産地作り交付金等について、既
 存の生産調整実施分に係る財源確
 保を前提として、生産調整目標を
 達成している都道府県が、今後と
 も生産調整を継続できる交付水準
 の維持を図ること。

また、米の需給緩和等による生
 産調整規模の拡大に対応できるシ
 ステムを産地づくり交付金等に追

加構築し、必要となる財源確保を
 図ること。

③食料自給率向上に向けた水田有効
 活用への支援強化

水田の有効活用による「食料自
 給率向上支援策」として、麦、大
 豆の作付増加振興策、飼料用米・
 WCS（稲発酵粗飼料）生産に対
 する所得支援策の強化、さらに産
 地づくり対策とは別に、加工用、
 米、米粉、輸出用米に対する支援
 策（取組助長策、所得支援策、加
 工流通支援策等）を新設すること。

(2) 畑作農業対策

①先進的小麦生産等支援事業の財源
 の万全な確保

先進的小麦生産等支援事業につ
 いては、19年度から21年度の3
 カ年事業として措置されているが、
 21年度予算も含め地域の生産が成
 り立つよう万全な財源を十分に確
 保すること。

②水田・畑作経営所得安定対策の見
 直し

固定払いの基礎となる麦の共済
 単収については、国の通知単収に
 基づき設定されているが、北海道
 における近年の単収向上の実態が
 反映できるよう、通知単収を適切
 に見直すなど地域の意見を踏まえ
 ながら、必要な措置を講じること。
 でん粉・砂糖の製造経費の助成
 については、燃料費等の高騰を十
 分反映できるよう対策を講じるこ
 と。



(3) 酪農畜産対策

①配合飼料価格動向に対応した経営
 安定対策の実施

今後、配合飼料価格が想定以上
 に高騰する等の状況変化が起きた
 場合、酪農畜産経営に支障を来た
 さないよう、機動的かつ実効性の
 ある経営安定対策を講じること。

②抜本的なセーフティネット対策の
 確立

生産コストの急激な上昇等に対
 するセーフティネットとして、粗
 収益と生産コストの状況等に対応
 した所得確保が図られるよう、21
 年度以降における抜本的な経営安

定対策を講じること。

③自給飼料基盤の抜本的強化

飼料自給率の向上に向け、飼料
 用とうもろこし並びに高栄養価牧
 草の生産振興対策を充実強化する
 とともに利用促進対策を講じるこ
 と。

Ⅲ、農地制度見直し対策

(1) 農地利用に係る責務明確化と規制維
 持

農地制度において、所有権に関し
 ては現行の規制を維持するとともに、
 利用権に関しても適切な利用を担保
 するための制度・しくみを措置する
 こと。

(2) 農地の面的集積促進のためのシス
 テム構築

農地の効率利用に向け、面的集積
 を促進するため、現行の農地保有合
 理化事業の拡充強化や新たなシス
 テムの構築を図ること。

(3) 農地の効率利用に向けた農地税制の
 見直し

担い手への農地集積や面的利用促
 進のため、農地の権利設定を行った
 場合、贈与税納税猶予制度の適用を
 継続できるしくみとする。

「写真提供 日本農業新聞」

府県実需者訪問

去る7月16日から18日にかけて上川中央農協農産物の府県実需者訪問を、矢野愛別町長、新井代表理事組合長、高井代表理事専務、土屋愛別町米麦生産協議会々長、佐藤上川町もち米生産組合長ほか生産者、事務局を含め11名により実施いたしました。この実需者訪問は、消費者に求められる「安心・安全」な商品性の高い生産を行うため、上川中央農協農産物の評価と産地形成を図ることを目的に行われ、「ホクレン販売本部」「伊藤忠ライス」「豊通食料」「インザイ」「きむら食品」「千葉青果」を訪問致しました。

今回の訪問では、販売している農産物の評価と動向について意見交換を行い、実需者側からは生産経費が高騰し生産者の経営が厳しい状況は理解している。購入価格の値上げについて業界として一体となった取組みを行っていくとの応答を戴きました。販売物に対する評価はコンタミ（異物混入）、保管条件等、他の産地も改善を行って、当組合としても実需の要望にこたえられるよう努力し産地評価を高め産地指定率の向上に繋げてまいります。



きむら食品にて説明を受ける

農協女性部一日研修

7月2日JA上川中央女性部愛別・上川支部合同の一日研修が行なわれ、長沼道の駅マオイの丘公園・ゆにガーデン・旭川市科学館の三箇所を研修して参りました。

研修当日は、晴天に恵まれ、それぞれの場所で色々な物を見学・体験して充実した研修となりました。



ゆにガーデンにて昼食前に挨拶する藤原部長、辰巳部長



愛別地区年金友の会パークゴルフ大会

愛別地区年金友の会主催第十六回パークゴルフ大会が六月二十八日に四十六名の参加により富沢ファミリアパークゴルフ場にて開催されました。当日は、天候に恵まれ好スコアが続出し、参加者も楽しく健康的な一日を過ごしました。これから年金を新規受給される方、一緒に年金友の会の行事に参加してみませんか。尚、今大会の結果は次の通りです。

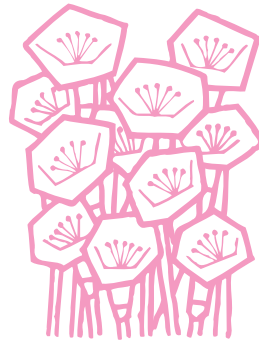
- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 優 勝 | 土屋 武 | 優 勝 | 若林 秋子 |
| 準優勝 | 鈴木 義一 | 準優勝 | 木全美栄子 |
| 三 位 | 入谷 英路 | 三 位 | 鞠古キヨ子 |
| 四 位 | 沢 勇吉 | 四 位 | 西尾 勝子 |
| 五 位 | 田上 信 | 五 位 | 阿部 靖子 |



スタート前、開催挨拶する高井専務

現地研修会・出荷規格検討会

各部会の現地研修会、出荷規格検討会が開催され、参加された組合員の皆様は、良質な作物を消費者に供給できる様、真剣な面持ちで今後の栽培管理等について活発な意見交換が行われていました。



6月30日 銀世界南瓜栽培講習会
(嘉屋久雄さん圃場)



7月8日 大豆青空教室
(有美土里圃場)



6月30日 ミニトマト出荷規格検討会
(上川支所貯蔵庫内)



7月22日 もち米現地研修会
(愛別地区有協和農産圃場)



7月22日 もち米現地研修会
(上川地区北原守さん圃場)

2008 あいべつ夏まつり 8月14日(木)

ふれあい通り及び
愛別高校グラウンド (校舎横)

〈スケジュール〉

10:00~15:00 子供縁日



NEW 遊ぶのに遊ぎ券が必要
遊ぎ券(10枚綴り)
は本部テントにて
500円で販売
してい
ます。

ワルワル円盤ゲーム
ダイヤモンドターゲット
★輪投げ★塩焼き魚の販売★古本市
★ボール遊び★型抜き★ヨーヨーつり
遊んだら景品交換券をあつめて本部テ
ントで景品と交換してね!!また、遊ぎ券
は売店で1枚500円で利用できます。

13:45~14:15

餅まき

13:30~13:45

嵐舞あいべつ 演舞

14:30~15:00

魚のつかみ取り



11:00~12:00
子供玉入れ大会



13:00~13:30
丸太切り大会

第32回
盆踊り大会
18:30~21:00
団体・個人の
各賞があります

音楽が響きわたる!



嵐舞あいべつ of 華麗な演舞をお楽しみに!!



随時 なめこ掘り取り・大雪山酒造文化財展示

あいべつ夏まつり実行委員会

お問合せ 愛別町観光協会

〒078-1405

上川郡愛別町本町166番地 愛別商工会内
TEL 01658-6-5240 FAX 01658-6-5239

第39回 上川地区農民まつり JA上川中央地区組合員大感謝祭

開催日

平成20年8月30日(土)



◆開催場所◆
Aコープ上川店駐車場
◆開催時間◆
9:00スタート

例年実施しております、組合員感謝祭の
日程が決まりましたので、お知らせします。
様々なイベントを用意しておりますので
皆様の参加をお待ちしています。



もち拾いをする子供達



農畜産物即売会(朝市)の様子



焼肉交流会の様子



注目!!!



朝市 農畜産物即売会

農産物 Aコープ横駐車場
畜産物・きのこ Aコープ店舗内
※品数に限りがございますので、
品切れの場合はご了承願います。

組合員交流会

焼肉交流会(牛肉・ジギスカン等)
玉入れ競争
もちまき
BINGOゲーム大会 景品50名様

相談コーナー

健康相談コーナー
貯金・融資相談コーナー

組合員コーナー

家庭配薬コーナー
准組合員加入促進コーナー

当日の加入でもOK! 相談コーナー

平成21年度 営農用肥料価格(値上げ)について

平成21年度用肥料価格について、世界的な食料増産の動きにバイオ燃料市場の拡大が加わり、穀物生産に不可欠な肥料の需要が急増し、主要原料（尿素・りん酸・加里）の国際価格は大幅な高騰を続けています。

また、中国が尿素、りん安、りん鉱石などに特別輸出関税を導入するなどの実質的な禁輸措置をとったことで、受給のひっ迫が一層強まり、原料の安定確保対策が最優先課題となっています。

そのような中で系統肥料については「肥料年間特約協同購入運動」に結集した数量や組織力を背景にメーカーと交渉を行ない製造諸経費を最大限抑制するとともに、肥料原料の早期手配等によるメリットを価格反映し、最終的な値上がり幅を19肥対比60.82%（ホクレン取扱化学肥料主要15品目加重平均）で決定いたしました。

今回の大幅な値上げに伴い、組合員皆様への影響は非常に大きなものとなりますが、当JAとしても関係機関と連携し予約購買の強化、化学肥料の集約化、地区育成銘柄の普及推進等コスト低減に向け努力をして参りますので宜しくお願い申し上げます。

職場からこんにちは 3



本所金融共済課

本所金融共済課では、信用業務と共済業務を行っております。今後とも組合員の皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、宜しくお願い申し上げます

左上から
渡邊武文（課長補佐）、荒川英宣（係長）、
後藤政勝（課長補佐）、高橋勝彦（課長補佐）、
牧野知晴（係長）、 小山貴幸（係長）
左下から
塚本彩香、 中尾美幸、
木村悦明（課長）、 伊藤しのぶ、
北澤知佳

定例理事会報告
第6回

7月25日開催、その概要を報告します。

(報告事項)

- 1、組合員の加入、出資譲渡、脱退の報告について
 - 2、固定資産(本所駐車場舗装工事)の取得について
 - 3、固定資産(種菌施設の改修)の取得について
 - 4、平成20年度事業実施状況について
 - 5、要領の設定について
 - 6、平成20年度前期経営定期点検について
 - 7、あいべつ夏まつりきこの里フエスティバル賛助金の支出について
 - 8、内部審査(金融共済課・上川支所)結果報告について
 - 9、JAバンク基本方針に基づく平成19年度決算における「経営状況に関する事項の報告」について
- 以上、報告了承されました。
- (議決事項)**
- 1、リース資産(マイコンガスター)の取得について
 - 2、就業規則の一部改正について
 - 3、色彩選別調整施設運営協議会委員の選任について
 - 4、JA上川中央上川地区組合員大感謝祭(農民祭り)の開催について
- 以上、審議決定されました。

JAのあゆみ
7月

- 1日 平成20年産てん菜作付実態調査・種菌施設運営委員会
- 3日 源泉所得税中間納付説明会
- 愛別・上川アスバラ現地巡回さのこ連合会役員会
- 7日 平成20年度病害虫防除対策推進会議
- 8日 大豆青空教室
- 愛別町振興センター経営指導班会議
- 14日 第1回あいべつ夏まつり実行委員会・事務局合同会議
- 15日 愛別町農民連盟常任執行委員会
- 16日 米実需者訪問
- 18日 米実需者訪問
- 22日 もち米愛別・上川合同現地研修会
- 24日 上川町乳牛検定組合定期総会
- 愛別町野菜振興協議会第3回役員会
- 25日 第6回定例理事会
- 26日 第2回胡瓜現地研修会
- 28日 色彩選別施設運営委員会

組合員のうごき

(平成20年7月25日現在)

正組合員戸数	414戸
組合員数	2,645名
うち正組合員数	644名
うち正団体数	30団体
うち准組合員数	1,896名
うち准団体数	75団体

業務変更のお知らせ


- ◎8月10日(日)
 - ・Aコープ愛別店・上川店は午前9時～午後6時まで営業
 - ・愛別直売所は午前9時～午後5時までの営業
 - ・愛別給油所は午前9時～午後6時まで営業
 - ・上川給油所は午前8時～午後7時まで営業
 - ・他業務は休業と致します。
- ◎8月15日(金)
 - ・全業務平常業務と致します。
- ◎8月16日(土)
 - ・Aコープ愛別店午前9時～午後6時まで営業
 - ・愛別直売所は午前9時～午後5時までの営業
 - ・愛別給油所は午前8時～午後7時までの営業
 - ・現金自動支払機本所・支所(ATM)は午前9時から午後12時30分まで営業
 - ・上川支所業務は平常業務と致します。
 - ・他本所(愛別)業務は休業と致します。

定年退職

七月三十日付

昭和五十三年に奉職以来三十年余りの長きに亘り組合員の皆様にご世話になりありがとうございました。

購買経済課資材係
河合 孝



Aコープからのお知らせ

只今、Aコープ愛別店ではLL牛乳の定期配送を毎月(5日前後)個別宅配しております。

新規に希望者を募集しておりますのでお電話にてご注文願います。

商品名 くみあいLL牛乳1ケース(12本入り)
単 価 2,646円(1ケース)

尚、6本以上にて申込み願います。

問い合わせ先 Aコープあいべつ店 6-5313
Aコープかみかわ店 2-1336

